



養老工場／平成25(2013)年竣工



ずらりと並ぶプレス機のラインと2000超の金型を管理する自動倉庫。



製造管理に携わる従業員の皆さん

第6回 / トップインタビュー

株式会社 カワセ精工

〒503-0985 岐阜県大垣市野口1-308-1 <https://www.kawase-sk.com>

創業／昭和38(1963)年3月 資本金／1,000万円 従業員数／74名(2021年6月現在) 事業内容／自動車部品、産業機器部品、電気設備部品、鋼製家具部品、IT関連部品などの加工 養老工場／岐阜県養老郡養老町宇田字本堂1161-1



代表取締役社長 川瀬 知哉 さん

一片の部品が安心安全を支えているように、 社会に役立つ企業でありたい。

【松岡】 自動車部品や農機具、スチール家具の部品など、金属のプレス加工を幅広く手掛けておられますね。

【川瀬社長】 はい。素材の調達から金型の製作、プレス加工、溶接、組立、塗装、品質検査、出荷まで、すべての工程を社内で行っています。高品質な製品を短納期、低コストでお届けできるのが強みです。大量生産はもちろんのこと、多品種・少量生産にも取り組んでおり、試作品などの少ロット、単品のご依頼にもお応えしています。当社はもともと高度経済成長期に祖父が旋盤加工会社を興したことがはじまりですが、お客様の様々なご要望にお応えするうちにプレス加工を本格的にやるようになり、現在の生産体制となりました。祖父から父へ、そして私へ。創立以来変わらないのは、「何でもやってみよう!」という姿勢でしょうか。お客様のオーダーに、いかに正確、誠実に、着実にお応えしていくか—そこに注力しています。

【松岡】 貴社の特徴として、「この加工は負けない!」という技術の一つだけあげるとしたら、何ですか。

【川瀬社長】 「アルミニウムの絞り加工」です。0.4mmほどの薄い板材をサーボプレスという機械にかけて、半球や円錐、円筒、角筒、あるいは凸凹があるようなもっと複雑なかたちに成形します。軽くて軟らかい素材なので、一見加工しやすいように思われるかもしれませんが、なかなか難易度は高い! その日の気温や油の乗り具合など、ちょっとした条件の違いで仕上がりが大きく変わるリスクがあります。暑い季節はバリが多くでますし、寒くて乾燥する

冬は硬くて扱いにくく、その都度プレス機や金型の調整が必要です。シワやゆがみ、割れなど、不良品=損失になりますから、どこの会社もあまりやりたがらない素材です。この加工を得意とするのは業界でも希少。当社ではこの30年、試行錯誤を繰り返しながら技術改良に努め、不良率の低減と高精度化を実現しています。

【松岡】 カワセさんは、環境対策にも力を入れておられますね。

【川瀬社長】 10数年前になりますが、先代社長が環境にやさしいモノづくりをめざして、「エコステージ」という環境マネジメントシステム(EMS)を導入しました。これはEMSの国内規格なのですが、ISO14001と非常に整合性が高く、経営強化にも役立っています。当社は業務上、電気を多く使用するためデマンドコントロールシステムで省力化を図ったり、太陽光発電や蓄電設備を採用しています。また、2019年には養老町さんと「地域防災協定」を締結し、災害時における施設開放を約束しました。もしもの時は養老工場を開き、一時避難の場所として雨風をしのいでいただくとともに、非常用電源で電気を供給する予定です。当社の太陽光発電は、充電を目的とせず、通常は工場で自家消費しながら、非常時には地域に活用していただく、そういう役割を担っています。

【松岡】 当庫の地域貢献型私募債「絆」を利用して、ご寄付もなされていますね。社会とのつながりを大切にされている印象です。

【川瀬社長】 当社の企業理念は、「三方よしの経営」です。言わずと知れた近江商人の言葉、「売り手よし、買い手よし、世間よし」

の三方ですが、大いに共感できるため当社の経営の軸としています。当社はモノづくりの会社ですが、完成品は日常生活の中で誰かの目にとまるものではありません。しかし、一つ一つの製品が私たちの安心安全な暮らしや世界を動かす先進技術を支えていることもある…。そういう自負と責任感をもって、あるいは感謝の気持ちをもって、毎日の仕事に取り組んでいます。先ほどの「絆」の件については過去2回、母校の綾里小学校*に備品を寄贈しました。養老工場でも同様の寄贈や地域清掃活動などを行っています。広く世界を見渡せば、それは小さなアリ程度の働き(貢献度)かもしれません。けれども、地域とともに成長していくことが当社の目標であり、従業員一同とともにめざすべき方向と考えています。*本社所在地の学区

【松岡】 3代目社長に就任されて3年半。今後はどのような展望をお持ちですか。

【川瀬社長】 コロナを契機に、より強い会社に変わらねばならないと実感しています。その変化の一つが、デジタル化。製造の現場にはまだまだアナログな部分が多いので、できることから実践していきたいと思います。例えば、工場内の手書き文書をデータ化し、情報を一元化。従業員の負担が減って作業効率が上がれば、その分コストや納期にも反映できて、お客様にも喜んでいただけます。もう一つの変化は、技術の提案です。創立以来、お客様のご要望にあわせて業務を拡大してきましたが、これからはもう少し自由な発想で、当社の技術を多くの方にご活用いただきたいと思っています。例えば、プレス加工の特性は何と言っても安定品質ですが、これをもっと他方面にアピールしていきたい。「プレス加工にすると、こんなメリットがあります」と具体的な数値や製品で提案していくとよいかもしま



300tのプレス機を導入し、より高精度なモノづくりへ。

せん。コロナの影響で社会全般が厳しい状況になっています。今後は、自社の生き残りの道を探るだけでなく、今ある資産で地域社会にどのように貢献していけるのか、それを考えかたちに変えるチャンスなのだと思います。

【松岡】 今後のご活躍が楽しみです。私たちだいしんも、地域とともに歩み続けたいと思います。本日はありがとうございました。

語り手 / 株式会社カワセ精工 代表取締役社長 川瀬 知哉 さん
聞き手 / 大垣西濃信用金庫 ビジネスサポート部 部長 松岡 伸治

西濃地域の
おすすめ
ショップ紹介

オルツカフェ
Olts Cafe



大人も子どもも
ゆっくり過ごせる場所へ



魚介たっぷりの海鮮ピザパン(サラダ・ドリンク付)

木のぬくもりとやわらかな光に包まれたシックな空間。中央には三角アーチが目印の愉快的キッズスペースがあります。お子さんが席を離れても、目の行き届く広さ。おもちゃやチャイルドシート、キッズプレート、絵本やおもちゃも揃っています。パティシエ出身のオーナーシェフが創り出す色とりどりのプレートは、もちもち、サクサク、ふんわり、カリッと、食感も楽しめるメニュー。ご家族連れやママ会などに最適、お野菜たっぷりのテイクアウト・メニューも人気です。



Olts Cafe 林 康裕
岐阜県本巣郡北方町曲路2-132 ガーデンプレイスSK1F
Tel.058-216-7749
営業時間/11:00~22:00(土日祝~17:00) 定休日/月曜日



スタイリッシュな外観



隠れ家みたいなキッズスペース